

Eye Contact Affects Object Representation in 9-Month-Old Infants

Yuko Okumura, Tessei Kobayashi, Shoji Itakura, *PLOS ONE* DOI:10.1371/journal.pone.0165145, 2016

インタラクションにおける社会的手がかりによって、乳児は、環境から有益な情報を取り出すことが可能となる。

本研究では、9カ月児を対象に、アイコンタクトが、物体処理にどのような影響を与えるかを検討。2つのタイプのインタラクション→物体を呈示しているときのインタラクションでアイコンタクトあり、なしの2条件(action phase, Fig. 2 (a))。その後、3つのoutcomes(Fig. 2 (b))で注視時間を測定。



Fig. 1 Experimental stimuli

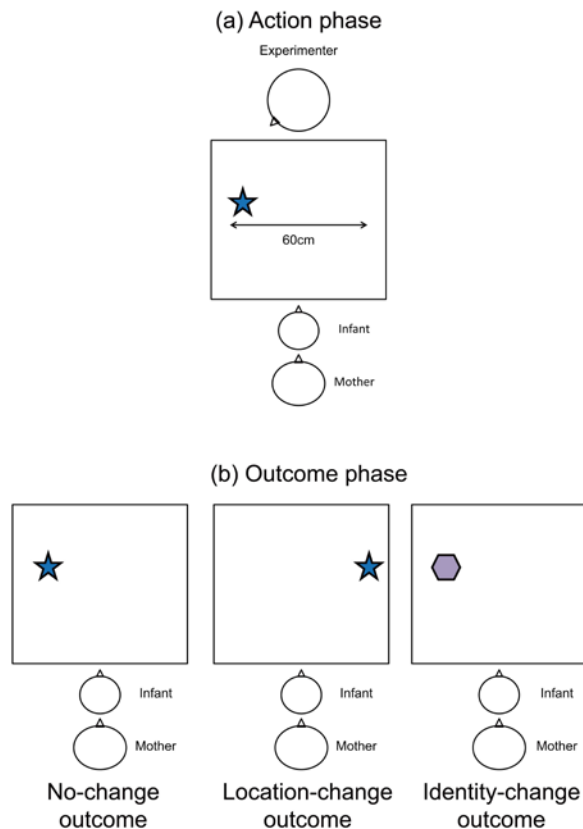


Fig. 2 Experimental set-up for the action and outcomes phase

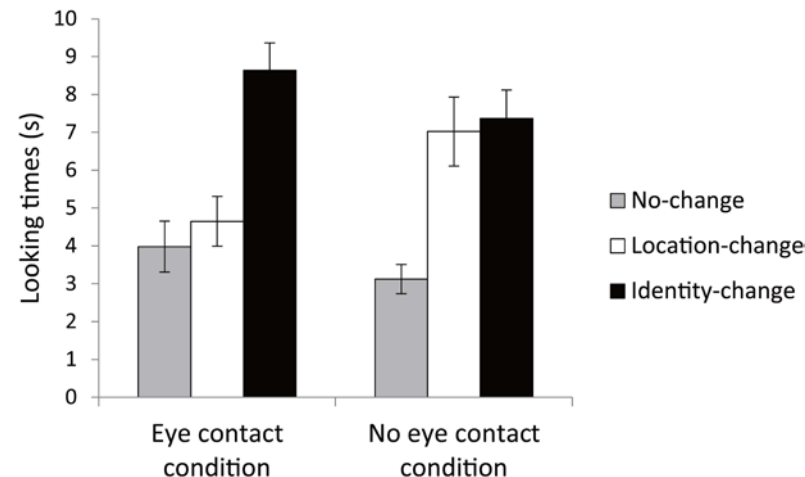


Fig. 3 Mean looking times during outcomes phase

結果

- ・アイコンタクトあり: 物体が変化したときに注視時間が長い。
- ・アイコンタクトなし: 物体及び場所の変化に対して注視時間が長い。

結論

9カ月児の物体表象は、インタラクション下のアイコンタクトによりmodulateされる。